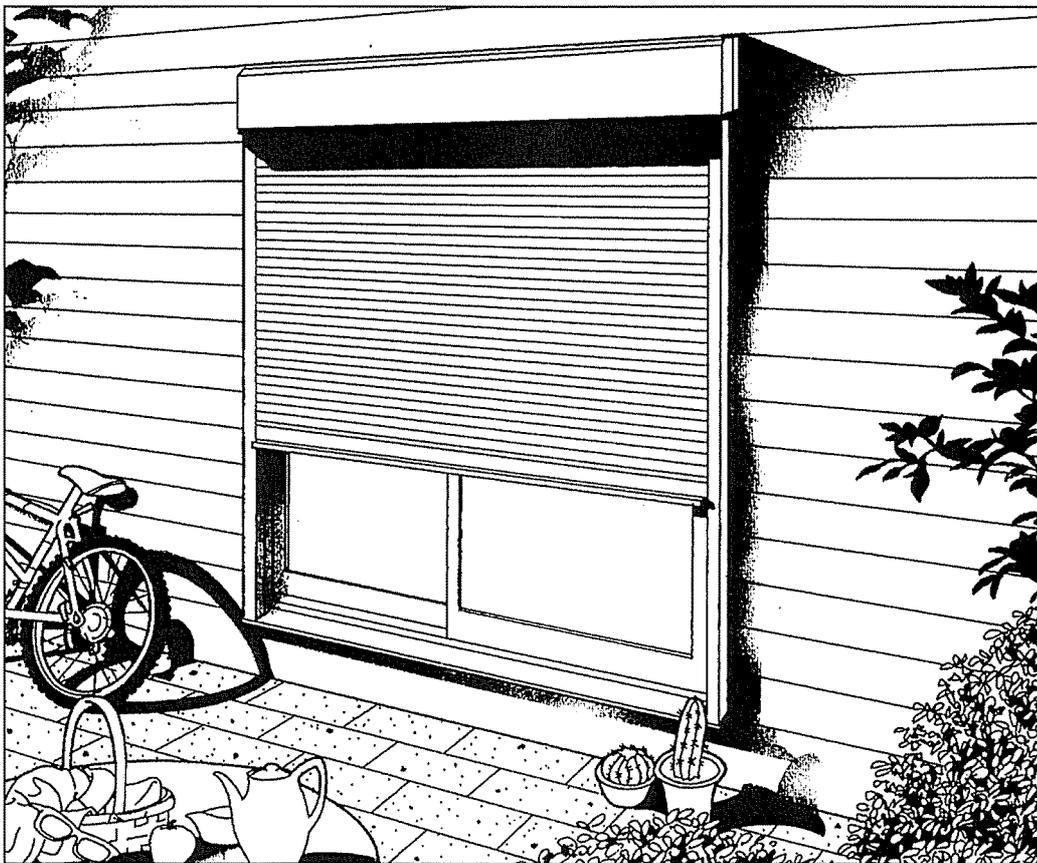


シエルムーン5型

スチール電動タイプ

〈お客様用〉

お取扱いの手引き



ご使用のお客様へ



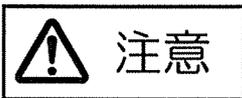
このお取扱いの手引きをよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
わからないことや不具合が生じた時にはもう一度ご覧ください。
また、いつでも使用できるように大切に保管してください。



安全にお使いいただくために

- シャッターのご使用前に「ご使用上の注意」をよくお読みいただき、理解してからご使用ください。

- 本お取扱いの手引きは、安全にご使用いただくために特に大切な「お知らせ」には、次のようなシンボルマークとシグナル用語が使用されています。



取扱いを誤った場合に、使用者または不特定多数の第三者が、軽傷を負うか、または物的損害のみが発生する危険の状態が生じることが想定される場合を示しています。

本文では以下のように使用します。

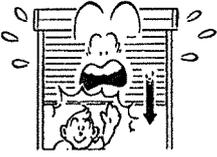
シンボルマーク

シグナル用語

基本的な注意事項

 **注意** 次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

- シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターにはさまれてけがをすることがあります。特にお子様にはご注意ください。



したがうべき指示

「シグナル用語」に続く指示を十分守らないと、人身事故につながるようになります。

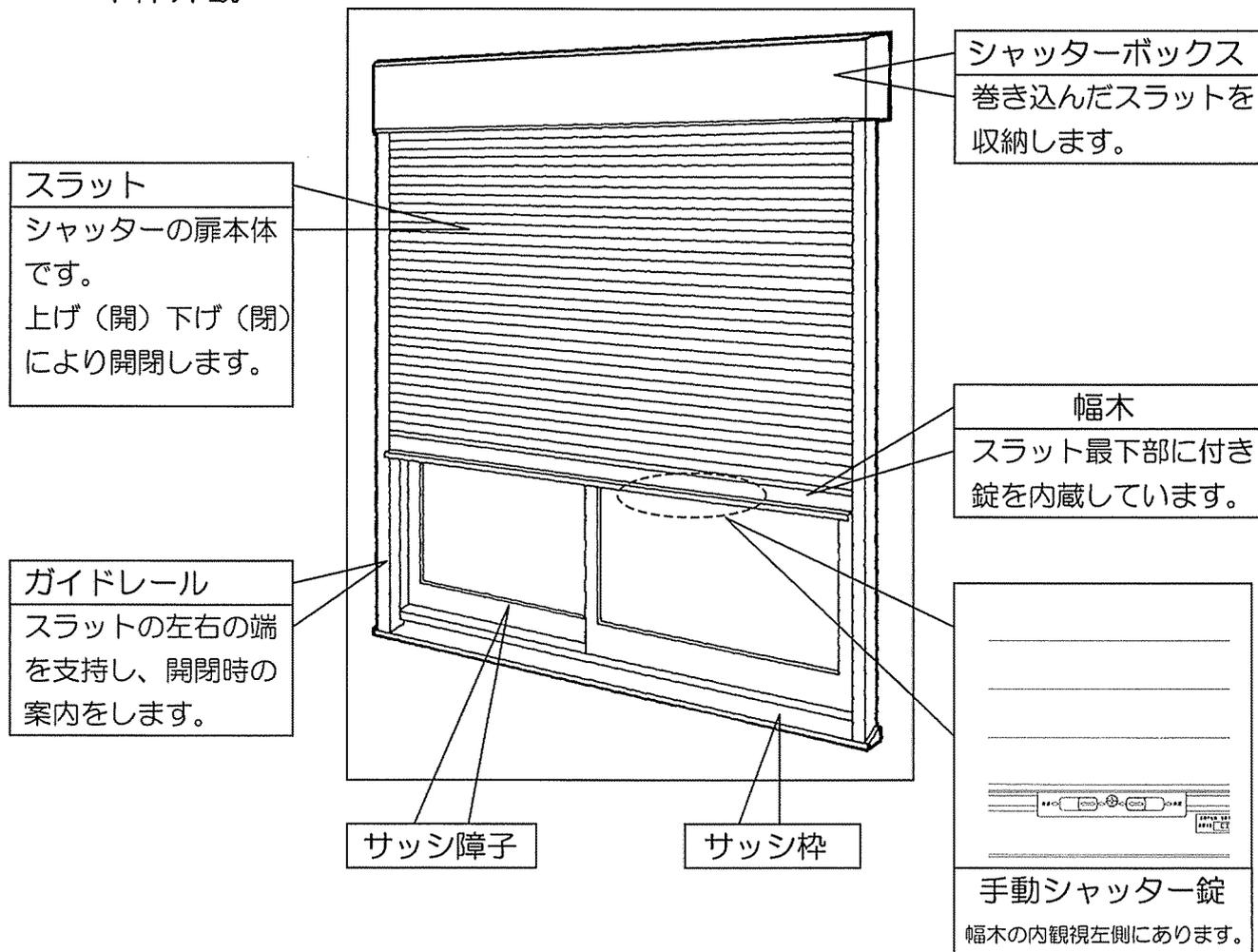
目次

1. 製品の概要	2
2. ご使用上の注意	3
3. ご使用方法	4~7
4. お手入れ方法	8
5. 故障かな?と思ったら	9
6. 製品保証について	10

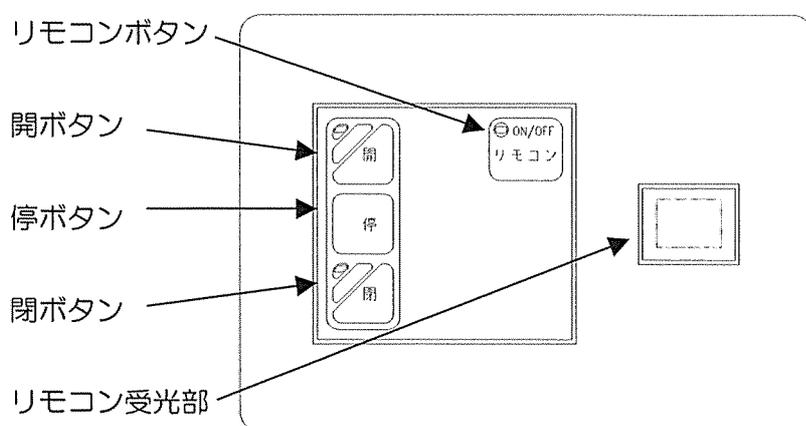
1. 製品の概要

—各部の名称とそのはたらき—

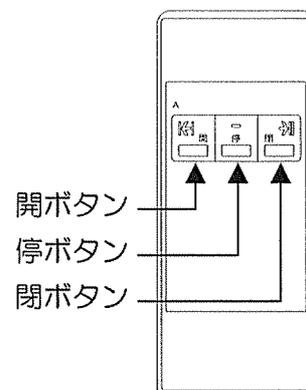
本体外観



壁スイッチ



リモコン（オプション）



※ご使用方法は、本書の4頁をご覧ください。

2. ご使用上の注意

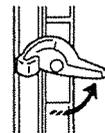
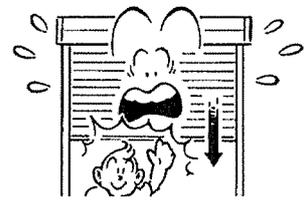
- この章に記載されている内容をよくお読みいただき、完全に理解したうえでシャッターをご使用ください。
- このお取扱いの手引きは、必要なときにいつでも取り出してお読みいただけるよう大切に保管してください。
- このお取扱いの手引きに表示されているすべての注意および指示に、必ずしたがってください。

基本的な注意事項

注意

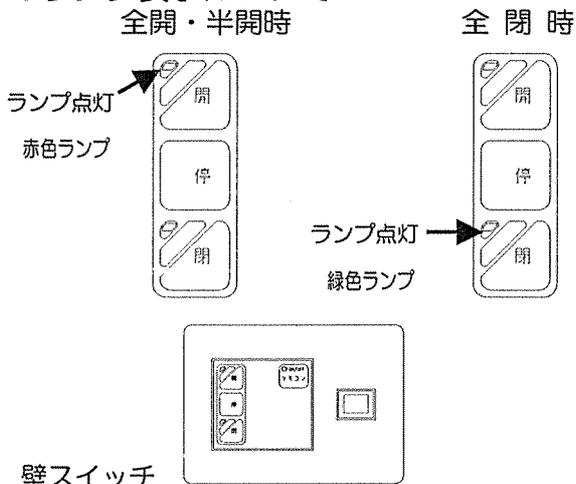
次の注意事項を守ってご使用ください。注意事項を守らないとけがや事故につながる恐れがあります。

- シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターにはさまれてけがをする恐れがあります。特にお子様にはご注意ください。
- シャッターを故意に連続運転するのはなるべくお避けください。約5分間連続で運転を続けると保護機構が働き、自動的にシャッター動作を停止します。自動停止した場合は、開ボタンと閉ボタンのランプが3拍子点滅して保護機構が働いたことお知らせします。10～20分間程度休ませると再び作動できますので、開または閉ボタンを押して操作してください。動作開始とともに点滅ランプも元にもどります。
- シャッターの分解、改造は絶対にしないでください。分解、改造が原因で思わぬ事故になる恐れがあります。また、電装部品の分解は感電する恐れがあります。
- シャッターボックス内部には駆動ユニット（モーター）が組込まれていますので、故意に水をかけたりしないでください。
- 風の強い時は窓を閉めて、錠（クレセント）も施錠してください。窓が飛ばされたり、急激に開閉すると事故やけがにつながります。
- シャッター開閉時、風などの圧力がかかった場合、開閉する速さに多少の変化が生じることがあります。
- 幅木部に手動シャッター錠が付いています。シャッターを閉じた時（就眠前や外出時）は施錠してください。シャッターを開ける時は、手動シャッター錠を通常時（解錠）にしてご使用ください。
- シャッターボックスは変形しやすいので、はしごをかけたりに乗ったりしないでください。落下してけがをする恐れがあります。
- シャッターには、物をぶつけないでください。変形して動かなくなる恐れがあります。
- 常時シャッターを使用しない場合でも少なくとも1ヶ月に2～3回は開閉してください。長期間動かさないとスムーズに動作しなくなる恐れがあります。
- HAコントローラーでの操作を行なう場合は、ご使用になるHA機器メーカーの取扱説明書をよくご覧になり、操作方法を確認ください。



3. ご使用方法 —その1

通常使用状態（待機状態）の壁スイッチのランプ表示について

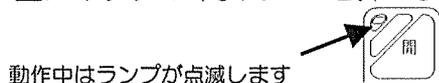


上図はシャッターの状態によるランプ表示です。
全閉時の緑色ランプ点灯は、防犯機構セット状態の表示です。

1. 基本操作

シャッターを開ける（上昇させる）

壁スイッチの 開ボタン を押します



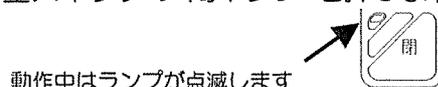
シャッターの動作を停止させる

壁スイッチの 停ボタン を押します



シャッターを閉める（下降させる）

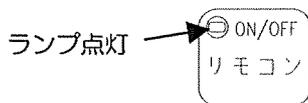
壁スイッチの 閉ボタン を押します



※開・閉ボタンは1度押すだけで動作するワンタッチスイッチです。（押し続けなくてもシャッターが動作します）

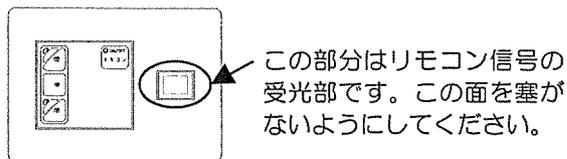
2. オプションのリモコンを使う場合

壁スイッチのリモコンボタンを押してリモコンONモードにします。

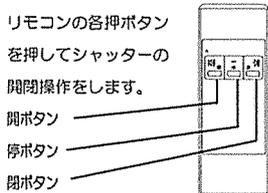


リモコンONモードになると黄色ランプが点灯します。

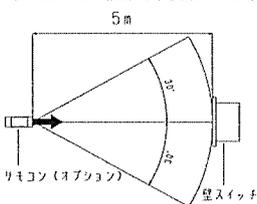
リモコンを使用しない時はOFFモードにしてください。



リモコン送信機（オプション）

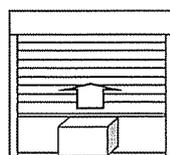


リモコン使用範囲の目安



3. 障害物感知機構について

シャッター下降中に幅木が障害物等を感知した場合反転上昇してシャッターが全開状態になるまで上昇します。



障害物を感知すると
反転上昇して 全開になる

シャッター上昇中に幅木が障害物等を感知した場合、シャッターが止まります。

※ 障害物感知機構が働いた場合は障害物を取り除いてからシャッターを動作させてください。

※シャッター開閉中は、顔や手を出したりシャッターの下に物を置いたりしないでください。シャッターにはさまれてけがをされる恐れがあります。

特にお子様には
ご注意ください。



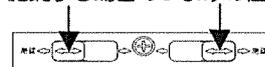
4. 手動シャッター錠の操作（施錠方法）

幅木の室内側に手動シャッター錠が付いています。右図の「手動シャッター錠の操作方法」の要領でシャッターを閉めた時は手動シャッター錠を施錠してください。また、シャッターを開ける時は錠のつまみ位置を通常時（解錠）の位置にしてください。

※障害物感知機構や防犯機構、手動によるシャッター開閉の後に手動シャッター錠が掛かりにくくなる場合があります。その場合は、電動開閉動作でシャッターを一度全開（上げ）にし、全閉（下げ）した後に再度施錠してください。

—手動シャッター錠の操作方法—
錠のつまみを手で横にスライドさせます。

施錠する場合のつまみの位置



通常時（解錠）のつまみの位置



3. ご使用方法 —その2

5. 防犯機構について

シャッターが全閉状態になると自動的に防犯機構がセットされます。

「セットされると、閉ボタンの緑ランプが点灯します」

シャッターが全閉状態の時に、無理に手でシャッターを開けようとする、シャッターが巻上がらない様にモーターがブレーキをかけ、さらにシャッターを下降させます。

この防犯機構は、シャッターが全閉状態に戻るまで働き続けます。

また、防犯機能が働いたことを壁スイッチのランプが2拍子点滅でお知らせします。

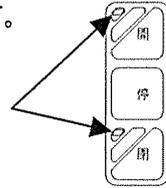
—2拍子点滅パターン—

灯・灯・消・灯・灯・消・

○・○・ . . . ○・○ . . .

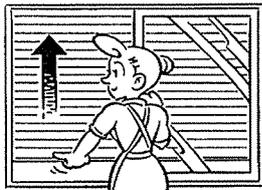
※ランプの点滅は 開ボタンまたは閉ボタンを押してシャッターを動作させると解除されます。

開と閉のランプが同時に2拍子点滅



6. 停電時の手動によるシャッター開閉方法

手動シャッター錠のつまみ部を通常時（解錠）の位置にして、手でシャッターを開閉してください。



※手動による開閉時は、幅木の中央部を持ってゆっくりと開閉してください。サイズによっては全開できないものもあります。

お願い

手動によるシャッターの開閉は、停電等の緊急時のみの操作とし、通常のご使用時には電動による開閉操作をしてください。

停電または電源ブレーカー遮断後、通電状態に復旧した場合は、通常動作の方法でシャッターを操作してください。また、停電時に手動開閉をした場合に開閉位置が狂う場合があります。その場合は、8. シャッター開閉位置の修正の手順でシャッター開閉位置の修正をしてください。

7. 通電時の手動によるシャッター開閉方法

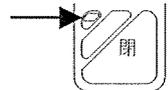
シャッターが全閉の場合

全閉状態になっている場合は、防犯機構を一時解除しないと手動でシャッターを開けることが出来ません。

防犯機構の一時解除方法

閉ボタンを5秒以上押し続けると閉のランプが消えて一時解除状態になります。

閉ランプが消えると一時解除



一時解除しても3分間後に自動的に通常状態に復帰します。

シャッターが全開または半開の場合

そのまま手動で開閉してください。

※手動開閉時は、幅木の中央部を持ってゆっくりと開閉してください。サイズによっては全開できないものもあります。

お願い

手動によるシャッターの開閉は、緊急時のみの操作とし、通常のご使用時には電動による開閉操作をしてください。

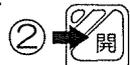
8. シャッター開閉位置の修正（壁スイッチにラベル表示されています）

シャッターの全開（上限）・全閉（下限）位置が狂ってしまった場合の修正方法

シャッター開・閉位置の修正方法

手動シャッター錠を解錠して

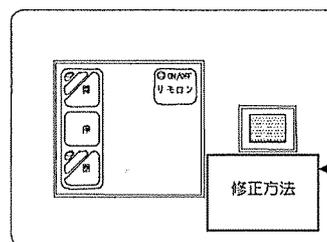
① 停ボタンを押したまま



② 開ボタンを押します。



シャッターが上昇し、全開の位置で自動停止して位置が修正されます。



この修正方法は、壁スイッチにも表示してあります。

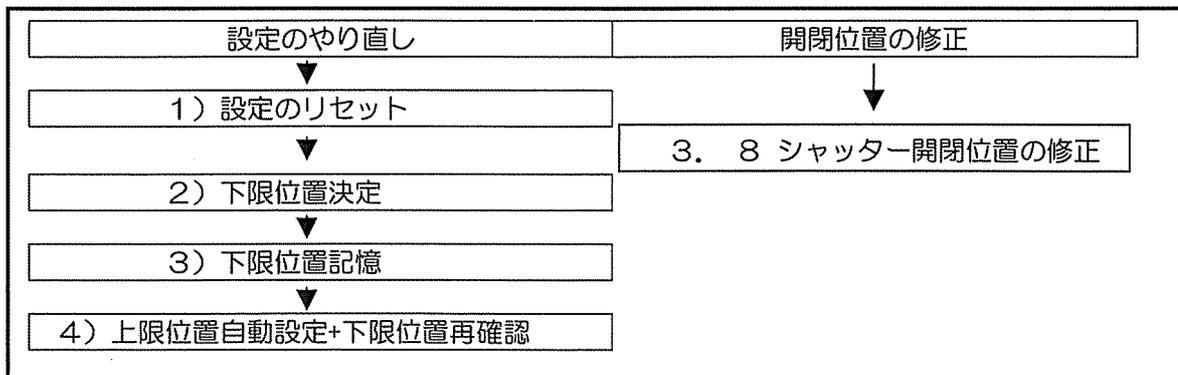
※シャッター開閉位置の修正方法で修正出来なかった場合は、6頁の「3. ご使用方法—その3」9. 設定のやり直しの手順で再設定してください。

3. ご使用方法 —その3

9. 設定のやり直し（電動開閉時の上・下限位置設定）

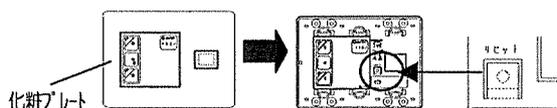
上・下限位置の設定の方法

設定のやり直し、開閉位置の修正を以下のフローで行なってください。

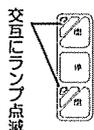


1) 設定のリセット

- ① 化粧プレートを外して ② リセットボタンを押してください。

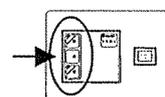


設定モードに切り替わります。設定モードになると、開ボタンと閉ボタンのランプが交互に点滅します。
※化粧プレートは下部の凹部にマイナスドライバー等を差込んで外してください。



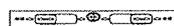
2) 下限位置の決定

壁スイッチの開・閉ボタンでシャッターを動かし、下限の位置を決めます。

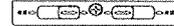


シャッターを全閉まで下降させ、手動シャッター錠が施錠可能なところを下限位置とします。手動シャッター錠の施錠は、左右のつまみをそれぞれ手で横にスライドさせて、施錠時←→通常時の状態にそれぞれ手で動かせることを確認してください。

施錠時の状態



通常時（解錠）状態



※設定モードでは、押ボタンを押している間だけシャッターが動きます。

3) 下限位置の記憶

停ボタンを3秒以上押し続けて置記憶します。



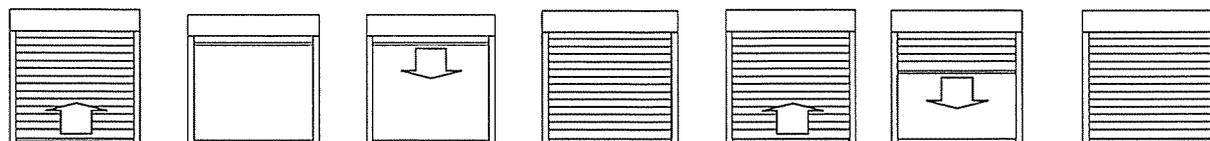
下限位置が記憶されると自動的に 4) 上限位置自動設定と下限位置の再確認の自動動作が開始されます。

4) 上限位置の自動設定と下限位置の再確認

以下の順で自動で動作します。

- ① 3) 下限位置の記憶が完了したと同時に上限位置の設定の為、シャッターが自動的に上昇します。
 - ② シャッターが全開位置になると自動的に停止し、上限位置を記憶します。
 - ③ その後シャッターが自動的に下降を開始して ④ 下限位置まで下降した後に
 - ⑤ 再度上昇後に（約3秒間） ⑥ 下限位置まで再下降し ⑦ 自動停止します。
- この自動停止した位置で再度手動シャッター錠の施錠状態を確認して設定の終了です。

- ① 自動的に上昇 ② 上限位置で自動停止 ③ 下限位置へ自動下降 ④ 下限位置まで下降 ⑤ 再度上昇 ⑥ 下限まで再下降 ⑦ 自動停止



※設定の途中で障害物感知が動作したり、任意に停ボタンを押して停止させた場合は、設定のやり直しをしてください。

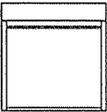
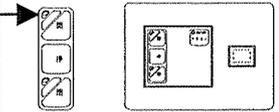
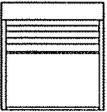
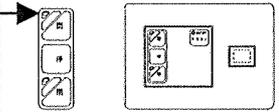
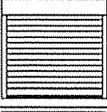
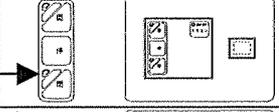
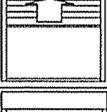
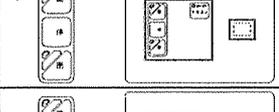
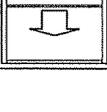
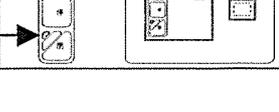
3. ご使用方法 —その4

9. 壁スイッチのランプ表示

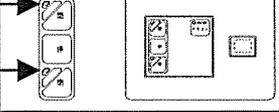
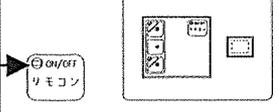
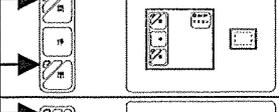
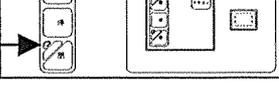
この説明の中に以下のランプの点灯、点滅、同時点滅、交互点滅、消灯等の表現があります。それぞれの意味を理解され、壁スイッチの状態を判断してください。

語句	語句の意味
ランプ	壁スイッチの押しボタン部左上のLEDランプを表示します。 開ボタン部は赤色、閉ボタン部は緑色、リモコンボタン部は黄色のLEDランプです。
点灯	LEDランプが常時点いていることを表します。
点滅	LEDランプが 0.5秒ごとに 点いたり消えたりを繰り返していることを表します。
消灯	LEDランプが常時消えている（点いていない）ことを表します。
同時点滅	2つのLEDランプが 0.5秒ごとに点いたり消えたりを同時に繰り返すことを表します。
交互点滅	2つのLEDランプが 0.5秒ごとに点いたり消えたりを交互に繰り返すことを表します。
2拍子点滅	LEDランプが 0.5秒ごとに 2回点いて1回点かない周期で繰り返すことを表します。
3拍子点滅	LEDランプが 0.5秒ごとに 3回点いて1回点かない周期で繰り返すことを表します。

通常使用状態でのランプ表示

シャッターの状態		ランプの表示	
全開		開ランプ 点灯（赤色）	
半開		開ランプ 点灯（赤色）	
全閉 (防犯機構セット)		閉ランプ 点灯（緑色）	
開き動作中（上昇中）		開ランプ 点滅（赤色）	
閉じ動作中（下降中）		閉ランプ 点滅（緑色）	

その他の状態

上・下限位置設定モード (電源投入時、停電復旧後)	開ランプと閉ランプの 交互点滅	
リモコンONモード	リモコンランプ 点灯（黄色） ※リモコンOFFモードはランプが消灯します	
防犯機構作動	開ランプと閉ランプの 2拍子同時点滅	
モーターの過熱保護作動 (モーターが動かない状態)	開ランプと閉ランプの 3拍子同時点滅	

4. お手入れ方法

清掃の仕方

●シャッターはいつもきれいに清掃しておくことが腐食せずに長持ちさせる一番の方法です。

- ①柔らかい布で水ぶきし、表面の汚れを拭き取ります。
- ②中性洗剤等で汚れを拭いて頂ければ、さらに長持ちします。
- ③硬い物で強くこすると表面に傷がつき、そこから錆びやすくなりますのでご注意ください。
- ④直接ホース等で水をかけての清掃は故障の原因となりますのでお止めください。



清掃の間隔

●清掃は下記の基準をめやすとし、定期的に行ってください。

- ①臨海工業地帯
(京浜・中京・京阪神) 毎週1回
- ②海岸地帯 毎週1回
- ③工業地帯 1ヶ月に1回
- ④大都市地帯 1ヶ月に1回
- ⑤中小都市地帯 1ヶ月に1回
- ⑥田園地帯 1ヶ月に1回



日常点検



注意

必ず以下の日常点検をおこなってください。

日常点検で不具合を発見したら、ただちに使用を止め、当社 支店・営業所または、お客様相談室にご連絡ください。

1. 表示ラベルの脱落、破れ、はがれ、などの破損がないかご確認ください。
2. シャッターの開閉状態については以下の事項を確認してください。
 - 今までと違った異音がないこと。
 - 外観に使用上有害な変形がないこと。
3. シャッターの降下ライン上（シャッターの降りてくる下）に、物がないこと。

5. 故障かな?と思ったら

<シャッター錠が掛かりにくい時の対処について>

シャッターの障害物感知機構、防犯機構、通電時の手動操作等を行った後に、手動シャッター錠が掛かりにくくなる場合があります。

その場合は、通常の電動動作で、シャッターを一度全開（上げ）させ、その後全閉（下げ）させた後に再度施錠してください。

一般的なトラブルの確認事項

<壁スイッチの操作でシャッターが動かない場合>

停電していませんか？

→ 他の電気製品を確認してください。

電源ブレーカーがOFFになっていませんか？

→ 確認してください。

開閉ボタンをしっかりと押ししましたか？

→ 確認してください。

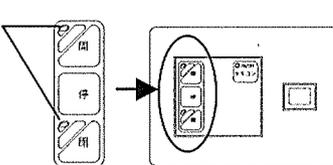
連続運転をしていませんか？

→ 10～20分間放置してから再度操作してください。
(モーターの温度が上昇すると自動的に保護機構が働き自動停止します)

(5分以上)

モーターの過熱による故障を防止する保護機構が働くと、壁スイッチの開と閉のランプが同時に3拍子点滅でお知らせします。点滅は、停ボタンを押すと解除されます。(この場合、10～20分間放置してから動作させてください。)

3拍子の同時点滅



20分以上放置してもシャッターが動かない場合は別の故障と思われます。最寄りの販売店又は弊社の支店、営業所、サービス窓口にお問合せください。

<シャッターの動きが不安定な場合>

ガイドレールに物がはさまっていませんか？

→ 取り除いてください。

下枠の上に物を置いていませんか？

→ 取り除いてください。

手動シャッター錠が施錠されていませんか？

→ 解錠してください。

シャッターが凍結していませんか？

→ 解凍されるまで待ってください。

<オプションのリモコン操作が出来ない場合>

リモコンボタンがONモードになっていませんか？

→ 確認してください。

リモコンの電池が弱っていませんか？

→ 新しい電池と交換してください。

リモコンの操作範囲で使っていますか？

→ 4頁の操作範囲の目安を参考にしてください。

壁スイッチのリモコン信号受光部を何かで塞いでいませんか？

→ 確認してください。

<上記の内容を確認しても全閉あるいは全開しないで途中でとまってしまう場合>

上下限位置が何らかの原因でズレたものと思われます。

この取り扱いの手引き 5頁の「8. シャッター開閉位置の修正」の手順で修正をしてください。

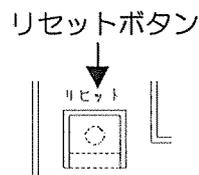
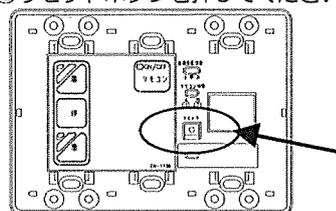
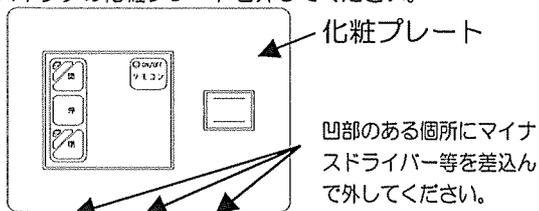
シャッター開閉位置の修正方法は、壁スイッチにもラベル表示されています。

シャッターが誤動作している場合の対処方法（一般的なトラブルの確認で治らなかった場合）

落雷などの影響でプログラムの誤動作が発生していると思われます。以下の手順で設定のやり直しを行なってください。

①壁スイッチの化粧プレートを外してください。

②リセットボタンを押してください。



③リセットボタンを押した後は、6頁の「設定のやり直し」の手順で再設定してください。

6. 製品保証について

本手引きは、ここに記載の保証期間、保証内容の範囲において無料修理をお約束するものです。保証期間中に故障・損傷などの不具合（以下「不具合」といいます）が発生した場合には、お取り扱いの施工店、工務店、販売店又は最寄りの当社支店・営業所に修理をご依頼ください。

■保証期間

施工者より商品の引き渡し日（注1、注2）から起算して次の期間とします。

- ① 商品の不具合については2年間（電装部品については1年間）。
- ② 商品からの雨水浸入については10年間。（但し、窓が閉まっいて施錠状態に限ります）

注1）改修工事の場合は改修部分の工事完了日を起算日とします。

注2）分譲住宅（建売住宅）・分譲マンションの場合は、建築主への引渡し日を起算日とします。

■保証内容

本手引き、本体ラベル又はその他の注意書きに基づく適正なご使用状態で、保証期間内に不具合が発生した場合には、下記に例示する免責事項を除き無料修理いたします。なお、強風雨時に、サッシ下枠に雨水がたまることありますが、これは商品上の特性であり、不具合ではありません。不具合といえる雨水浸入は、サッシ下枠を超えて室内に雨水が流れ出たり、あふれ出ることです。（但し、窓が閉まっいていて施錠状態に限ります）

■免責事項

保証期間内でも、次の様な場合には有償修理となります。

- ① 当社の手配によらない第三者の加工上、組立て上、施工上、管理上、メンテナンス上などの不備に起因する不具合。（例えば、海砂や急結剤を使用したモルタルによる腐食、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したことによる変色や腐食、工事中の養生不良による変色や腐食など）
- ② 表示された商品の性能を超えた性能を必要とする場所（店舗など）に取付けられた場合の不具合。
- ③ 商品又は部品の経年変化（使用に伴う消耗・摩耗など。木製品の反り、干割れ、変色など）や経年劣化（樹脂部分の変質、変色など）又はこれらに伴うさび、かびなどその他類似の不具合。
- ④ 自然環境や住環境に起因する結露などの不具合。
- ⑤ 環境が特に悪い地域や場所での腐食又はその他の不具合。（例えば、海岸地帯での塩害による腐食、大気中の砂塵・煤煙・各種金属粉・亜硫酸ガス・アンモニア・車や給湯機などの排気ガスなどが付着しておきる腐食、異常な高温・低温・多湿による不具合など）
- ⑥ 天災その他不可抗力（例えば）暴風、豪雨、洪水、高潮、地震、地盤沈下、落雷、火災など）により、商品の性能を超える事態が発生した場合の不具合。
- ⑦ 実用化されている技術では予測することが不可能な現象又はこれが原因で生じた不具合。
- ⑧ 犬、猫、鳥、鼠などの小動物の害による不具合。
- ⑨ 植栽による不具合。（例えば、商品に隣接した植栽による開閉障害、根による防水層の破損など）
- ⑩ 引渡し後の操作誤り、調整不備又は適切な維持管理を行わなかったことによる不具合。
- ⑪ お客様自身の組立て、取付、修理、改造（必要部品の取外しを含む）に起因する不具合。
- ⑫ 本来の使用目的以外の用途に使用された場合の不具合又は使用目的と異なる使用方法による場合の不具合。
- ⑬ 犯罪などの不法な行為に起因する不具合。

■その他事項

保証期間経過後の修理、交換などは有料といたします。

本手引きによってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理、その他についてご不明の場合は、最寄りの当社支店・営業所にお問合せください。

新日軽株式会社

本社 / 〒141-0032 東京都品川区大崎1-11-1 ゲートシティ大崎4F TEL:03-5759-2100 (代)
お客様相談室 (フリーダイヤル) 0120-37-2534